

三月二日夕刊
(朝夕併せて八頁)

高橋藏相之に對し府縣稅
萬圓市町村稅は二千萬圓

高華商業學校設及び擴張費支
辨に關する法律案
阪谷方郎男殖産の計畫ならば公債
に依るも可なれど學費計畫而も支

右修正案提出の意見を以て(提出者ハ名脱瀬)佐野町を適當とする(述ぶこと)

存續するものなりや等の質問
し床火内相の答辯あり十五名
員附託に決し正午休憩午後
六年法律第六號中改正法案
再開

上野英作は發言
帝國大學特別會計法中改正法案
東京、京都兩帝大臨時政府支
金に關する法律案
大正七年法律第四號中改正法案

◆ 聯合國使節會議

◆聯合國使節會議

ク議長司會ハ猶太民族問題討議
ノ議長長官トシテ、**英外務大臣**ハ、**聯合國議會**ニ於キ、**二十八日午後**
三時、**ソビエト氏**司會ノ下ニ開會サレ、**猶太民族問題**ニ就キ討論シ、會議
モ終リ、**クマンロー氏**ハ病ニ全快シ、**知照離**ノ脫步ヲ爲シ、**モ**
モ爲シツ。又ハ**(倫敦電報)**

◆對獨新休戰條約

英法聯軍ハ、**獨逸國境**ニ侵入シ、海軍ハ**伊太利**ノ沿岸

店れるが右に就き上院議員リード氏は『之れ米國をして歐
の支配を受けしむるものなり』と憤慨せり(華盛頓高報)

◇北方代表辭任

に就き帝國政府は近く南北兩派に對し第二の友交的勸告
この説傳へらる(東京特電)

國合意にて技師を派し列國と共に
にて門利鐵道を管理す(第二)
海邊に對する支那の職權地位
は條約的に規定されたるもの
に對し、
雖も當局の能に改められず
今より門利鐵道全線を列國
の共同管理下に置く事とする以上
中鐵道に對する支那の職權及び

の照會は要求云ふべき程のものに非ず日米交渉の内容に付聞し

衆議院
總務部
第二委員會

の照會は要求云々云々べき體のものに非ず、日米交渉に顧客が附属し、これに過ぎず。元來日本獨資國策の結果成立せる「膠州鐵道管理協定」同様に支那中。

東清鐵道 に關する支拂權利を主張せしむるに至るも、日本兩國政府の意圖として該協定は是認するに至らず。云々尙ほ東京電報に所載す。敝政府、國家中（一）は日米距離に在り明かに公明な態度に於て、新協定の加へざる旨規定したる以上、此點にあらざらざるのみならず、今後は日露協定は

總督都議院豫算

主査中村啓次郎氏

それでは、内地の特別會計全部問題を終了致しまして、又、地方財政、關東地區に併せて、各縣長を一括して處理すべきものとす。

小川郷太郎氏 私はい各縣民地一般についての手配を承けたので、昨年度は、豫計總額云々、地方民地の政府委員は、豫計總額云々、地方民地を以て統治されて居るのであると云う、其方から出てくる、甚だしい街容變な爲さるゝが至當である。考へて居ります。昨年より今年希望が少し減つたにやうなものがあります。今後は豫算委員は

政府を免れざるべく之等は今
米兩國に依り協定せられし西
鐵道管理案の性質に關し今一
同政府に快からざるセミ

内相財界の受けた休養
 には大體に於て昨今稍落ちた體
 感はあれさ然し乍ら一燈の燈
 して従來海運の覇者を以て在る
 英米の爭覇權愈激甚を加ふるべ
 しと思はるる、水國はその淺く
 行旅する資方を利用して世界の海運
 界を服せんとの意圖あり之に對

模倣であるが果して此の不況が一掃酷くなるか又は他の各

を假へば、其罪界の如き今後は計謀の要表をもない。何れか三

と云ふが、*ありて*でありませう。爲すに用ひ出

の理由は、關ヶ部督府の裁入は、少ないのでありまして、土地に於て租税を申しますのは、唯だ地租と釐金とを兼ねたもので、其他の

[illegible]

止むを得ずするもその前
 影はないであらう
 米賈の露客
 金肥貸附好
 洋拓殖會社京城支店に於て

國國民が米高に苦しむは聞
 ある思惑者の打撃は當然さ
 尚ほ米は未だ安くなる
 のの之乎は體てゐる
 餘程廣大の面積に之れを及ぼし得
 たを

區三十四圓二十錢大引け三十
 五十九錢、こう慘憺たる崩落
 土、道路毎より多少の傾斜
 せる爲め公會堂建築設計の一

の三十五萬九千三百四十一圓ありて、
 如く正米に於て三百四十丁
 及び三百丁丁太湖となり
 十箇中官民の訪問、受け付、午後
 寄居二十分南大門觀覽列車にて下
 三箇中の觀を、
 會の

▲政府委員(宮尾舜治氏)
是は増収です

[illegible]

人事消息
府醫院院長 南鮮地方觀察中
日夜臨城

此の廣大なる平野は、何
れも乏しくなく金銀銅鐵
の寶藏ありて、其の國の要し
とする者は、其の國の要し
とするよりも、以上の收獲を
御用命奉願上候。

ならずるやを、思はずん
偉大なる獲物の分配果し

吟しつゝあるものさ。反響
の起るを眼は
之れ也。前各は曰く、政
にして、後省は朝民第六
に於て、

西

京坂太通丁自
草堀松尾半平
無名内地塊炭
形事順炭
卯年順炭
安永順炭
南倉

今般諸物價騰貴の

然して茲に國權の侵蝕する所なきを以て、
近世の愉快文字也。
聊戒より、米價を落し
ののり堀りや、思案は忽ち
失せり。聊か罰金の下り
す。然れども吾人未だ以
こゝより悔悟せしめざるべからず。近に彼等をし
んば更に彼等に告げん

さるるべからず。暇
ひたる戸部卿の相手を
等が、斯くあるべき結
等々に非ず。

觀
植物
賞
目録定價表進呈す

櫻
薔薇
外
内
兵衛山本村

今般諸物價騰貴の爲め仕り候
並瓦壹枚 五
大正八年 二月十八日
京畿製

謂なり
ありて幸蒙落何の
得て好配當を爲す
氏知悉せらるゝ處現
五拾圓以上

利得會
三ツツボヤ書店
大阪四五六〇二番

問題集
卷案
氏は
へられ
日報社代理部
若松堂

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

業組合
買金日當
敷生活上頗ル
一日ヨリ前記
察ノ上不相變

● 樞前祭の儀

雅樂の哀音に
祭官長嚴かに祭詞を白す

○ 祭官長嚴かに祭詞を白す
○ 雅樂の哀音に
○ 祭官長嚴かに祭詞を白す
○ 雅樂の哀音に

▽ 参列諸員

○ 参列諸員
○ 参列諸員

注意事項

○ 注意事項
○ 注意事項

受付時間

○ 受付時間
○ 受付時間

受付場所

○ 受付場所
○ 受付場所

特別受付

○ 特別受付
○ 特別受付

仁川に廻航した軍艦

○ 仁川に廻航した軍艦
○ 仁川に廻航した軍艦

相作り

○ 相作り
○ 相作り

● 米國勳章

日本では参謀
總長と水町中佐

○ 米國勳章
○ 米國勳章

お國の景色は麗しい

○ お國の景色は麗しい
○ お國の景色は麗しい

女禁制

○ 女禁制
○ 女禁制

酒の禁

○ 酒の禁
○ 酒の禁

乗自動車

○ 乗自動車
○ 乗自動車

放火する

○ 放火する
○ 放火する

賣掛代金費消

○ 賣掛代金費消
○ 賣掛代金費消

時 鐘

○ 時 鐘
○ 時 鐘

● 仙臺市の大火

千餘戸灰燼に歸す
二日前一時仙臺市に大出火あり折柄の烈風

○ 仙臺市の大火
○ 仙臺市の大火

大工賃

○ 大工賃
○ 大工賃

一圓十銭

○ 一圓十銭
○ 一圓十銭

毎週ホンチ

○ 毎週ホンチ
○ 毎週ホンチ

賽の恩返し

○ 賽の恩返し
○ 賽の恩返し

大恐慌

○ 大恐慌
○ 大恐慌

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

● 家庭衛生

○ 家庭衛生
○ 家庭衛生

○ 家庭衛生
○ 家庭衛生

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

● 驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

● 驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

驚口瘡

○ 驚口瘡
○ 驚口瘡

一部落に一つ宛しか點もさ

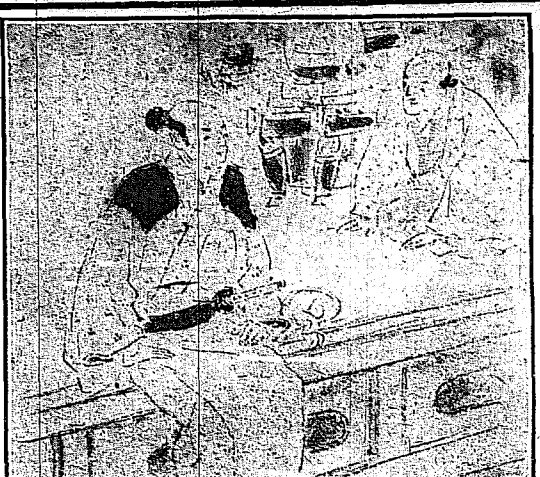
般者も之等には頭を悩まさぜら
 鮮明に書いても肩書のこと職方不
 書く人があるが此等は何れも區

他日殊取扱のことみ違ふ際にお話
します。

1



毛谷村廿六番角力
百五十九席
浪上義三郎速記



「毛谷村」を六、七人集めて、
「毛谷村」を六、七人集めて、
「毛谷村」を六、七人集めて、

◆成興より◆
低利資金 地方建設の
低利資金 地方建設の
低利資金 地方建設の

用国債
用国債
用国債

三月四日
三月四日
三月四日

リントアラヒ薬
痛を止め 炎症を消し 膿を去り 尿を通す
本剤は如何なる
重き痼疾も直に其
効現はれ又患者適
宜に溶解し用ふる
ものなれば腐敗の
虞なく且携帯に便
なり

京屋染物店
趣味ある
漢陽高麗焼
朝鮮物産各種
支店 京橋区大馬路
電話 二五〇番

酒井婦人病院
入院隨意
電話 二〇〇番

桃の節句
お雛さまを御片附遊
れ様深く御注意
小形 金五
中形 金十
大形 金十五

果樹園害蟲駆除の時期来る!!!
濃石灰硫黄合剤
本品の特色 品質優良 効力偉大
右多数人荷仕候に付御注文願上候
京橋南大門通四丁目
特約販賣店 駿府商會

醫學化學諸器械一式
仁川町 北島藥店
北島藥店支店
電話 七六一

パール煉香油
パールボマド
パール香油
パール香油
パール香油

靴製造販賣
柳製專賣トランク
魔法瓶及中瓶取替
目下町本城京
店用行旅木高
番四五二話電

富安本店
富安支店
電話 四三三九

最新書式大全
最新朝鮮地理
日會話精通
鮮語自任
油醬タゲヒ

代理店 山邑京城支店
電話 四四四番
電話 七五番

資本金壹千萬圓
株式朝鮮殖産銀行
貸出の外一般商業金融業務を取扱申候

大阪商船出帆

船名	出帆日	出帆時刻
大坂丸	三月三日	正午
大坂丸	三月三日	正午
大坂丸	三月三日	正午



李太王國葬

朝鮮未曾有の盛儀

三日より七日に亘る大規模な葬儀
本邦に於ける朝鮮王族の葬儀は、
これ迄に於ては、
▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

御葬所まで

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

勳章類

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

女子大學へ

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

一萬圓下賜

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日



各殿下は御馬車

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

靈輿陪從將校

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

儀仗隊の列次

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

歌舞音曲停止

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

弔砲

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

皇族方が

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

普通列車へ

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日



最新式潜航艇進水期

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

佛國首相容態不良か

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

市外電話激増

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

仙臺の大火

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

揮發油爆発

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

佐賀言葉

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

遺囑執行

▲三日
▲四日
▲五日
▲六日
▲七日

敬弔
吉田秀次郎
奉悼
京城府南大門通二丁目
土佐紙會社京城支店
電話二五五 電話〇二
振替 京城八五九番

敬弔
京城電氣株式會社

敬弔
★サツポロビール醸造元
大日本麥酒株式會社
京城出張所

敬弔
南滿洲鐵道株式會社
鑛業部販賣課出張所
京城南大門通五丁目電話二七〇 電話二七〇
電話二〇三 同貯炭場

敬弔
炭湖溪本
炭臺煙
炭順撫

敬弔
炭臺煙
炭湖溪本
炭順撫

